

企画展 没後35年 鴨居玲展 —静止した刻—



《出を待つ（道化師）》1984年 個人蔵
—「没後35年 鴨居玲展 —静止した刻—」より—

- 特別陳列 日本往生極楽記と一遍上人絵伝【前田育徳会尊經閣文庫分館】
- キラキラ×工芸【近現代工芸】
- 加賀ゆかりの個性派絵師 守景・岸駒【古美術】
- 夏休み親子で楽しむ美術館 もっと、いしかわ【近現代絵画・彫刻・工芸】

- 土曜講座のご案内
- 「いしかわをパチリ！」参加者募集！
- 「美術館のひみつクイズ」をはじめます
- 8月の行事予定
- アラカルト ただいま展示中

1階 第7・8・9展示室、2階 第3・4展示室

没後35年 鴨居玲展 —静止した刻—

主催：石川県立美術館 共催：北國新聞社 後援：NHK金沢放送局 北陸放送 石川テレビ放送 テレビ金沢 北陸朝日放送
企画協力：公益財団法人日動美術財団

7月31日(金)～8月30日(日) 会期中無休

学芸員の眼

本編で述べた《静止した刻》は、出世作ですが、時を止めたような画風が、同年代のあるメキシコ人作家に類似していると指摘された作品でもありました。鴨居玲がこの作家から影響を受けたことは間違いないと見られますが、本人はこの事を大変気にしており、幼少時の観劇の思い出を引き合いに出し、「青白く冷たく永遠に氷りついてしまったような空間を表現したかった」との趣旨を述べています。これは本心でもあったのでしょうか、若干いいわけのようにも聞こえます。ただ、この類似性の指摘が、鴨居に独自の画風確立を促し、スペインに渡って傑作の数々を生み出すことへと繋がりました。ちなみに「静止した刻」と題する作品は、わかっているだけで四点描かれ、本展ではそのうち二点が展示されます。残念ながら残りの二点は現存していないと考えられています。



《静止した刻》1968年
東京国立近代美術館蔵

没後三十五年を記念する鴨居玲展、満を持しての開催となります。新型コロナウイルス感染症の影響で、一月遅れの開催となりました。当初は京都会場を皮切りに石川、久留米を巡回する予定の展覧会でしたが、残念ながら京都での開催は見送ることとなりました。やきもきしていた鴨居ファンの方も多く、当館ウェブサイトをごまめにチェックして頂いていた様子がSNSに見られました。あらためて鴨居玲という画家の衰えぬ人気、本展への期待を感じた次第です。また今回は、開催と感染拡大防止のジレンマから、公式の情報をなかなか提供できずにおりました。あらためてお詫びいたします。

さて、没後五年ごとに開催している巡回展も今年で七回目になりますが、没後十年展を除いて、全ての展覧会にサブタイトルが付いています。没後五年は「心酔・覚醒の画人」、十五年「一期は夢よ」、二十年「私」の話を聞いてくれ」、二十五年「終わらない旅」、三十年「踊り候え」など。そして今回のサブタイトルは「静止した刻」。これはよく知られた鴨居玲出世作の題名から拝借しました。グラスを片手に男達がサイコロ遊びに興じる一瞬を、まるで時を止めたように描い

た作品です。鴨居は本作において第十二回安井賞を受賞。一躍画壇に躍り出たのです。この時間が止まったような画面は、鴨居の生涯を通じた作風の原点となりました。本展ではこの作風にも注目して頂きたいと思います。

〈関連事業〉

◆土曜講座「鴨居玲—虚飾と実像—」

日時／八月八日(土)午後一時三十分～三時

講師／担当課長 前多武志

会場／当館ホール

※聴講無料

※新型コロナウイルス感染症の影響で、その他の展覧会行事は全て中止となりました。

◆観覧料

一般…一〇〇〇円(八〇〇円)

大学生… 八〇〇円(六〇〇円) 高校生以下無料

※()内は六十五歳以上の料金、二十名以上の団体

料金。当館友の会会員は団体料金に割引



《静止した刻》1968年
石川県立美術館蔵

日本往生極楽記と一遍上人絵伝

7月31日(金)～8月30日(日) 会期中無休

学芸員の眼

ます。

西は極楽浄土の方向です。この物語は「希有ノ事也」として、『今昔物語集』にも収められています。

「蓮の花が美しく開いた時に、極楽往生を遂げたい」と願い、蓮の花が咲くことに周辺の寺

へお供えを続けていました。老齢になり、花が盛んに開いた時に病に臥せます。「このタイミン

グとは、極楽往生できる」と女性は喜び、家族隣人を招いて言います。「今日がこの世を去る日

である」と。女性が亡くなった夜、池の中の蓮は西を向いていました。

常にも拒み、ひとりで暮らしています。家の庭には蓮の花が咲く小さな池がありました。女性は再

婚も拒み、ひとりで暮らしています。その夫は裕福でした。夫が亡くなったあとは、女性は再

加賀国にひとりの女性がいました。その夫は裕福でした。夫が亡くなったあとは、女性は再

婚も拒み、ひとりで暮らしています。その夫は裕福でした。夫が亡くなったあとは、女性は再

信仰の高まりがあり、当時の宗教と社会生活の関係

を記しました。本書成立の背景には、平安時代の浄土

も往生せんと、出家する直前にその日本版たる本書

論に収められた往生伝に倣ったもので、保胤は自ら

ど四十五人です。このような「往生記」は中国の浄土

の孫の尼などの皇族や加賀国の婦女といった庶民な

じまり、行基・円仁・空也といった僧のほか、光孝天皇

知られています。取り上げられるのは聖徳太子には

《日本往生極楽記》は、そのもつとも早い書物として

時代中期の儒学者・慶滋保胤(?)一〇〇二)による

極楽往生した人物の伝記を「往生記」といい、平安

財《日本往生極楽記》と重要文化財《一遍上人絵伝》

を紹介しします。

前田育徳会展示室では、特別陳列として重要文化

がうかがえます。

《一遍上人絵伝》は、鎌倉時代中期の僧で時宗を開

いた一遍(一二三九～八九)の伝記絵巻です。説明文

である詞書とそれを絵画化した場面から成り、全十

二巻で構成されています。前田育徳会が所蔵するの

はそのうち一、二、四と九から十二の七巻(白描含む)

です。今回は、一、二、四巻を紹介しします。

一遍が十三歳で修業に出る場面が始まり、諸国を

遊行した生涯が描き出されています。信濃の善光寺、

伊予の菅生寺の岩屋、摂津の天王寺などの名所を写

實的に表現するとともに、当時の生活様式もうかが

える見所の多い絵巻です。

この機会にじっくりとご覧ください。

キラキラ×工芸

7月31日(金)~8月30日(日) 会期中無休

学芸員の眼

寺井直次《曙小屏風》は、高さが三十七センチほどの小ぶりの屏風です。朱漆の地に沈金で叢を描き、真珠の粒を散らしています。「曙」という作品名から、夜明けの光が叢をほのかに照らし、真珠の朝露がキラリと輝く情景を表現しているものと思われれます。

ここで思い起こされるのは、『伊勢物語』六段 芥川の「白玉かなにぞと人の問ひし時露とこたへて消えなましもの」の歌です。白玉とは真珠のことで、本作品では露が本当に真珠で表現されています。このように登場人物を描かずに、背景や持ち物だけで物語を表現する技法を留守模様といいます。あえて主人公を描かないことで、見る人の想像力がかきたてられる仕組みです。



寺井直次《曙小屏風》

金や銀など、キラキラと輝く素材は工芸作品に華やかな魅力を与えてくれます。金を使った装飾を金彩といいます。やきものでは上絵に金彩を施した華やかなものをとくに金襴手きんらんてと呼びます。また昭和期に能美市出身の竹田有恒によって開発された釉裏金彩は、金箔で加飾した後に透明釉でコーティングすることで摩擦を防ぎ、金の輝きを保ちます。小松市出身の吉田美統はこの技法を完成させ、重要無形文化財「釉裏金彩」保持者に認定されています。漆芸作品を彩る蒔絵には、金銀の箔に加えて、薄い金属板を文様に切り抜いて貼り付けたあと研ぎ出す平文ひょうもんの技法があります。平文は、箔と比べて強い金属的な光を放ちます。重要無形文化財「蒔絵」保持者に認定された大場松魚は、この平文を得意としました。また夜光

貝やあわび貝の光沢層を使った螺鈿らでんの輝きも欠かせません。染織では金糸や銀糸が作品を豪華に彩りますし、金属箔を生地に接着して文様を表す摺箔すりばくという技法もあります。ガラスはそれ自体が光を受けて輝きますが、カットが施されることによって光が複雑に屈折し、より輝きを増します。また二層のガラスの間に、文様に切り抜いた金箔を挟み込んだ、ゴールドサンドイッチという高度な技法もあります。

今回の展示では、ここでご紹介した作家や技法のほか様々な作品をごらんいただきます。キラキラをキーワードにして、作品を彩る加飾素材と多様な技法に注目していただければと思います。



羽田登喜男《友禅薄茶地金銀摺箔花びら散文振袖「曙秋」》

第6展示室【近現代絵画・彫刻・工芸】 夏休み親子で楽しむ美術館 もっと、いしかわ

7月31日(金)～8月30日(日) 会期中無休

今年、ここ石川県のことを再発見してみませんか。石川県立美術館では石川県に生まれ育った作家や、石川県にゆかりの作家の作品をたくさん所蔵しています。その所蔵している作品の中から、今回展示している作品の、例えば風景や特定の場所を描いた作品は、作家たちのその風景やその場所への想いの現れです。この展示室には、作家たちの「わたしのおすすめ、この場所」など作品で紹介される石川県のすてきな場所や「いしかわといえば、これ！」という物や食物などをモチーフにした作品を集めました。ま

た、石川県は全国でもトップクラスの工芸のさかな土地ということで、その種類も多岐にわたる石川の誇れる工芸品の数々も展示します。この夏、この展示室をきっかけに、たくさんの方が「もっと、いしかわ」のことを知り、「もっと、いしかわ」のことを好きになっていただく機会となれば幸いです。この展示では、展示作品から石川県の魅力を発信すると共に、みなさんからの「私のおすすめのいしかわ」の画像を募集する企画も行います。たくさんの方から写真で撮影したお気に入りのいしかわの画像をご提供頂き、「もっと、いしかわ」の展示を盛り上げて頂く企画です。詳しい内容は七ページでご紹介いたします。



梶山伸《名園譜》

第2展示室【古美術】 加賀ゆかりの個性派絵師 守景・岸駒

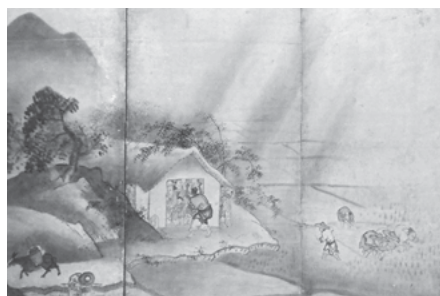
7月31日(金)～8月30日(日) 会期中無休

第2展示室では、作品を総入れ替えして、前回に引き続き「守景・岸駒」の特集展示を行います。守景の《四季耕作図》については、前回は重要文化財の「日本風」と石川県指定文化財の「中国風」を紹介しましたが、今回は「夕立の景」を大きく描いた旧浅野家本を展示します。

旧浅野家本は「中国風」に描かれた《四季耕作図》で、季節は左から右へ流れています。左隻には牛や鋤を使った田起こしから、苗運びと田植えの場面が、右隻には稲刈り、稲束運び、籾殻外し、脱穀、米運びの場面が描かれています。前回紹介した二つの作品と比べると、人物の姿がやや大きく、景色はよりクロローズアップして描かれています。農作業の様子だけで

なく、子どもたちの様子や夕立を避けて小屋へ逃げ込む人々の生き生きとした姿がうかがえます。この屏風は、加賀藩前田家とも婚姻関係にあった広島藩浅野家に伝わったもので、前田家から浅野家へ贈られた可能性も考えられています。「謎の絵師」とされる守景と加賀藩の関係がうかがえる貴重な一点です。

守景の作品としては、その他《花鳥図》屏風と《笹に兎図・蓮に川せみ図》もあわせて紹介します。岸駒については、石川県指定文化財の《虎図》など計三点を展示します。《虎図》の詳細については、最終ページの「アラカルト たいいま展示中」に記しましたので、そちらをご参照ください。



重要美術品《四季耕作図》久隅守景(左隻部分)

土曜講座のご案内

令和二年度の土曜講座は、当初六月からの開催を予定していましたが、しかし年初来の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染拡大を防ぐため、三月以降の諸行事を中止とし、本年度についても予定してきた講座を取りやめてきました。

この間、展示室も感染症対策として、四月十四日から全国の美術館と同様に臨時の休館としてきました。五月になり、全国に発せられていた緊急事態宣言が解除されて、当館も五月十八日からコレクション展示室を再開するなど、自粛も次第に緩和されてきました。ところが講演会や講座など対面型のイベントは引き続き、制限が続いています。いわゆる3密を防ぐため、講師・受講者ともに相互に十分な距離を保ち、室内の行事については定員の半数程度に制限するというものです。

こうした条件の下、感染症対策をとりながら、今年度は、企画展「没後35年 鴨居玲展 ― 静止した刻 ―」に関連した講座を八月八日に行うこととしました。半年ぶりの再開となります。対策に万全を期す目的で、受講者と講師との距離、受講者同士の間隔をとるために会場を当館ホールとします。また、隣り合う席を使わず、一席空けてご聴講いただきます。お連れの方と隣同士に腰掛けることができなくなりますがご了承ください。

展覧会にちなんだ講座は、展覧会そのものの開催時期が変更になったり、本年度に開催できないものがあつたりするため、先にご紹介した年間の予定を組み直しています。長い間、お待ちいただいて、楽しみにしていた方々には、大変申し訳ございませんが、次号以降の発表もしくは当館公式ウェブサイトをご覧下さい。

講座等ご参加にあたっての注意事項

- ① 来館時にサーモグラフィによる体温チェックを行います。体温が三十七度五分を超える方の参加はご遠慮ください。
- ② マスクの着用、手指消毒の徹底をお願いいたします。
- ③ 会場を美術館ホールといたします。
- ④ 密集を避けるため、前後両隣の席を空けての着席をお願いいたします。
- ⑤ ホール内では会話を極力ご遠慮ください。
- ⑥ 参加時は受付名簿に氏名と連絡先をご記載ください。

※映像ギャラリなどについても同様です。ホールでの行事にご参加いただく場合は、これらの注意事項をご了承の上、ご来館いただきますようお願いいたします。

◆八月の土曜講座

「鴨居玲―虚飾と実像―」

日時／八月八日(土)午後一時三十分～三時

講師／担当課長 前多武志

会場／当館ホール

※聴講無料

「いしかわをパチリ！」参加者募集！

この美術館だよりの五ページでご紹介した夏休み親子で楽しむ美術館「もっと、いしかわ」の展示から、子どもたちだけでなく、一般の方々含め、どなたでもご参加頂けるイベント「いしかわをパチリ！」をご紹介します。

この「もっと、いしかわ」の展示は、石川県に生まれ育った作家や、石川県にゆかりの作家たちおすすめの石川県に出会える展示です。たくさんの方々に「もっと、いしかわ」のことを知り、「もっと、いしかわ」のことを好きになっていただくことを願っての展示です。そして、作品をご鑑賞頂く皆様にもおすすめの石川県をご紹介頂き、さらに「もっと、いしかわ」の展示を盛り上げていくイベントを企画しました。

具体的な方法は、まず、みなさんのおすすめの石川県の風景、風物、おいしい食物を写真撮影で紹介下さい。その時、写真にあなたが選んだ理由やおすすめのポイントなど、ひと言コメントをつけていただき、美術館に送ってください。

その美術館へ送って頂く方法は、二つあります。一つはLINEの石川県立美術館公式アカウントに送る方法と、石川県立美術館のツイッター、フェイスブックにハッシュタグ「#いしかわをパチリ」をつけて投稿頂く方法です。LINEからの投稿の際は、石川県立美術館公式アカウントから石川県立美術館を友だち追加し、案内に従ってご投稿下さい。公式アカウントへは、左記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。

送って頂いた画像は、美術館内で七月三十一日から順次、掲示予定です。たくさんの方々の皆様からのご投稿をお待ちしております。



公式LINE



公式ツイッター



公式フェイスブック

受付期間：
8月21日(金)
まで

おうちで楽しむ石川県美

「美術館のひみつクイズ」をはじめます

石川県立美術館にまつわるクイズで美術館マスターになろう！八月のあいだ、インターネット上で「#美術館のひみつクイズ」を行います。例年夏休みに開催していた「子ども一日学芸員」のイベントが、残念ながら今年開催できなくなりましたが、このクイズでは「一日学芸員」でお話していた展示室のひみつや、展示道具の素敵な機能のことなどを入れこんで、クイズ形式でどなたでもご参加いただけるようにしました。SNS上でご覧になれますので、美術館に行くのが楽しくなるクイズにぜひ挑戦してみてください。ツイッターとフェイスブックの石川県立美術館公式アカウントにて、週に二〜三回更新します。

※ツイッターとフェイスブックは、いずれも同じ内容です。

8月の行事予定

■映像ギャラリー		14時30分〜15時30分	美術館ホール	無料
2日(日)	「美術のみかた 絵画を読む」(23分) 「世界・美の旅 ゴヤ〜魅惑のマハ〜」(30分)			
9日(日)	「日本美術史 中世美術の流れ」(27分) 「極める・匠の世界 漆箱の世界(時絵・大場松魚)」(30分)			

※ホールでの行事へのご参加に際して注意事項がございます。六ページに掲載の内容をお読みの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

例年十月に実施していた文化財現地見学は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。ご了承ください。

石川県指定文化財《虎図》とらす

各縦154.5cm 横355.8cm
江戸18～19世紀

岸駒 がんく

寛延2年(1749)～天保9年(1838)

美術館の仕事のひとつに、所蔵作品を図書やテレビ番組で紹介する場合の手続きがあります。近年、文化七年(一八一〇)に加賀藩十二代齊広なりひろによって再建された金沢城二の丸御殿が話題になるにあたって、その「虎の間」の襖絵を描いた絵師として注目されるのが、岸駒です。本館は岸駒が描いた《虎図》を所蔵することから、本図の掲載や放映に関する問い合わせが増えています。幼い頃から絵を描くことを好み、「がんく」という漢字二字の中国風の名前からわかるように、はじめ中国の絵画に学びました。七月二十六日まで展示していた《兎福寿草図》は天明二年(一七八二)に描かれた作品で、その画面には中国明代の画家「呂紀りよきの筆法ひつぽうに倣う」と記されています。金沢(富山との説もあり)に生まれ、安永年間に上京し有栖川宮家に仕え、やがて御所の御用も勤めるなど、円山応挙亡き後の京都画壇を代表する絵師として活躍しました。特に「虎の名手」として知られ、名を馳せたのです。

越前介えちぜんのかいに任ぜられた翌年の文化六年(一八〇九)、岸駒は長男の岸岱がんだいとともに金沢へ下り、二の丸御殿の襖絵の製作に着手します。「虎の間」は、客人を迎え入れる玄関に隣接した空間で、猛獣である虎は、御殿の主である藩主権力の象徴を意味しました。

本物の虎を見ることが難しかった時代、岸駒は贈られた虎の毛皮を手がかりにして、リアルな虎を得意としたのです。本屏風の伝来は不明ですが、金地に墨で描かれた虎は、躍動感にあふれており、岸駒の確かな画力がうかがえます。



次回の展覧会

令和2年9月5日(土)
～10月18日(日)
会期中無休

第3・4展示室	第5展示室	第6展示室	1F企画展示室
優品選 【近現代絵画・彫刻】	優品選Ⅰ 【近現代工芸】	くらしと風景と 【近現代絵画・彫刻】	いしかわの 工芸名品展

前田育徳会
尊経閣文庫分館前田家の
名物裂

第2展示室

琳派

ご利用案内

コレクション展観覧料

一般 370円(290円)

大学生 290円(230円)

高校生以下 無料

※()内は団体料金

8月3日は第1月曜日より

コレクション展示室無料の日

8月の開館時間

午前9:30～午後6:00

カフェ営業時間

午前10:00～午後6:00 年中無休

8月の休館日は
31日(月)

「石川県立美術館だより」に広告を掲載しませんか？

石川県立美術館友の会会員、石川県立美術館協力者、
県内各行政機関及び文化施設、全国の美術館・博物館へ

郵送配布!! 3,000部発行

ターゲットを狙った
知名度向上県立美術館発行の
信頼度の高い広報媒体

お問い合わせ ☎092-716-1401

株式会社ホープ 福岡県福岡市中央区薬院1-14-5MG薬院ビル7F
東京証券取引所マザーズ上場 福岡証券取引所Q-Board上場 財源確保 株票石川県立美術館だより
第442号(毎月発行)
2020年8月1日発行
〒920-0963
金沢市出羽町2番1号
Tel:076(231)7580
Fax:076(224)9550
URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>石川県立美術館は電源立地地域対策
交付金を活用して運営しています。